



日進北小だより

平成30年3月1日 3月号 第11号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

新年度に向けて

校長 宇佐見弘幸

平昌（ピョンチャン）で行われていた、第23回の冬季オリンピックが、25日に閉幕しました。17日間の熱戦にご家族で声援を送られていたご家庭もあったことと思います。今大会での日本人選手団の活躍は、金メダル4個、銀メダル5個、銅メダル4個の合計13個で、史上最多となりました。数々の名場面があった今回のオリンピックでした。

中でも、日本のスピードスケート勢の中で女子初の金メダルを獲得した小平奈緒選手。出場した500mのレースが終了し順位が確定したとき、地元韓国の李相花（イ・サンファ）選手は2位になって泣き崩れてしまいました。小平選手は李選手のもとへ歩み寄り、肩を抱きかかえます。小平選手が「チャレソ（よくやったね）」と声をかけると李選手は「あなたを誇りに思う」と答えたそうです。二人は長年のライバルでした。16組中14組でスタートした小平選手は、36秒94の五輪記録を出しました。金メダルを期待する会場には大きな歓声が響きます。しかし、小平選手は歓声にこたえるのではなく、会場に向け自らの右手の人差し指を口に当て、静かにしてほしいとアピールしました。李選手が出場する次の組のスタートを気遣ったのです。相手に勝つことを目指すスポーツの世界ですが、相手を尊重しようとするこの姿に感動しました。日々の過酷な練習に耐え、自分を磨き続けた真の実力者にしかできないことなのだと思います。真のライバルには真の友情が育つということを知りました。競い合うことの本当の意味と大切さを教えてもらいました。一流のアスリートたちが、多くのことを教えてくれた今回のオリンピックでした。2年後は東京でオリンピックが行われます。どんなアスリートたちがどんな活躍をしてくれるのか今から楽しみです。

さて、3月が始まりました。3月は学校での一年間の締めくくりの月です。今月はこの一年間をご家族でぜひ振り返ってみてください。書けるようになった漢字、できるようになった計算、ふけるようになったリコーダー、跳べるようになったなわとびなどできるようになったことがたくさんあると思います。他のお子さんとは比べるのではなく、お子さん自身の成長をとらえるようにしてください。そして来年は、朝一人で起きられるようになるとよいね、忘れ物が減るとよいね、授業中に元気に手が挙げられるようになるとよいね、自分から家庭での学習に取り組めるとよいね、などこれからできるようになってほしいことについて話し合ってみてください。押し付けではなく、お子さんが自発的に思いつけるとよいと思います。学年が一つ上がるこの時期が意欲を向上させるのに最適な時期だと思います。新年度に向けて、お子さんにあった目標を考えてみてください。

この一年間も、本校の教育活動に対し、保護者の皆様、地域の皆様、たくさんの方々にご理解とご協力をいただきました。ありがとうございました。

これまで学校だよりをB4版としてきましたが、最近A版が一般的となってきました。新年度からはA4版の両面とさせていただきますので、よろしく願いいたします。